

平成 27 年度第 1 回忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事録

開催日時 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 14:00~15:25
開催場所 忠岡町シビックセンター本館 3 階 研修室 1・2
出席者 【委員】

大阪府立大学客員研究員 博士	井上 馨 (会長)
忠岡町自治会連合会 会長	高見 晃市
忠岡町防犯委員会 会長	花野 淳一 (副会長)
(社福) 忠岡町社会福祉協議会 会長	上ノ山 幸子
忠岡町老人クラブ連合会 会長	田部 通夫
忠岡町子ども・子育て会議 会長	奥田 ヒサ子
忠岡町 P T A 協議会 東忠岡小 P T A 副会長	森 佳子
忠岡町国際交流オーストラリア ・ピットウォーター市派遣者 代表	白石 大樹
忠岡町商工会 会長	萬野 俊史
ベル食品工業(株) 代表取締役	植田 末廣
忠岡町労働者協議会 議長	藤田 茂
(株)りそな銀行泉大津支店 支店長	斉脇 幸史朗
(欠席委員)	
忠岡町小売商連合会 会長	上田 協春
忠岡町農業委員会 会長	前川 幸一郎
いずみの農業協同組合 営農経済部長	信貴 正憲
忠岡漁業組合 組合長	勝元 伊一郎
(株)テレビ岸和田 取締役技術本部長	嶋崎 宏和

【忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部委員】

和町町長 (本部長)、富本教育長 (副本部長)、原田町長公室長 (副本部長)、
柏原町長公室次長、前田住民部長、萬野健康福祉部長、
藤田産業まちづくり部長、長屋教育部長、土居教育部理事
(欠席)

阿児議会事務局長、森野消防長

【事務局】 秘書政策課 奥村課長、石栗係長、三木主事

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員名簿
- ・ 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱
- ・ 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部設置要綱

【会議資料】

- ・資料1 まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像等
- ・資料2 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン ー概要ー
- ・資料3 まち・ひと・しごと創生総合戦略 ー概要ー
- ・資料4 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部の設置について
- ・資料5 平成26年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型、消費喚起・生活支援型）実施計画
- ・資料6 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針
- ・資料7 忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けたスケジュール（案）

議事概要

1. 開会

2. 委嘱状交付

- ・和田町長より、代表として、井上委員に委嘱状を交付（他委員は机上に委嘱状）

3. 町長挨拶

- ・町長の挨拶

4. 委員紹介、事務局等紹介

5. 会長、副会長選出

- ・会長に井上委員、副会長に花野委員を選出

6. 会長、副会長挨拶

- ・井上会長の挨拶
- ・花野副会長の挨拶

7. まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像等について

8. 平成26年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型、消費喚起・生活支援型）実施計画について

- ・事務局：（資料1～5の説明）
- ・会長：ご意見、ご質問をお願いします。
- ・委員：先程の説明にあった「消費喚起プレミアム付商品券発行事業」については商工会で受託しています。明日くらいに住民に配布されると思います。商工会の会員は600余であるが、ライフやオークワは別として、町内で物を商う小売業は、だんだん減ってきています。まちの小売店の灯を消してはいけないと思っており、よい機会を与えていただいたと思っています。町内

の165事業所が参加しているので、この機会にご利用いただけたらとよいと思います。

この会議と第5次総合計画の会議との位置付けの違いについて説明していただきたい。

- ・事務局：総合計画が総合戦略の上位計画になります。総合計画には122の施策分類がありますが、道路をつくる事業など総合戦略とは直接からまない部分もあります。今回は、総合計画の下で横断的に必要な施策を凝縮した計画を策定するイメージであり、この推進会議は、総合戦略を策定するために、各種団体等の意見を吸い上げる会議という位置付けであります。総合計画とは計画の中身が異なるので、総合計画策定のための会議とは別の組織としています。
- ・会長：自治体が策定する総合計画と、あとから出てきた「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略の関連については、まだ検討中ということですか。
- ・事務局：今回は、まち・ひと・しごと創生の関係で、産官学金労言の関係者の皆さんの参画により、広く意見を聞く必要があります。金融や言論など総合計画審議会には入っていないジャンルも含まれているため、新たな推進会議を組織しました。
- ・会長：委員の意見は、総合計画と総合戦略との位置付けについて整理してはどうかという趣旨だと思いますが。
- ・委員：今回の件は、地方の活性化をターゲットにしていると考えられるが、そういうことですか。また、26年度に町が具体的な施策を予算化していますが、これについてはどうですか。
- ・事務局：国が26年度補正予算で、地方創生先行型の施策の枠を設けました。これを繰り越して27年度に事業を実施することになっています。これらの施策は、総合戦略の中に位置付けられることとなりますが、それ以外の施策についても、議論のうえ加えていきたいと考えております。
- ・会長：他にご意見、ご質問ございませんか。「ウォーキングコース策定事業」についてはどうなっているのでしょうか。
- ・教育部長：現在、教育部局で進めています。町民の健康増進につなげていきたいと考えております。
- ・委員：「英語教育を生かした魅力ある教育の推進事業」についてはどうでしょうか。
- ・教育部理事：まだスタートしていないが、予定は決まっています。たとえば、保育所、幼稚園児を対象に外国人講師を年6回派遣し、英会話を体験してもらう予定であり、今学期の2回分については、すでに実施先の保育所、幼稚園に連絡済です。また、小中学校で英語体験村、いわゆる「イングリッシュデイ」を開催する予定で日程をつめています。
- ・委員：これらの施策を実施するには、今まで以上に予算が必要になるのではないのでしょうか。
- ・事務局：事業は5年間継続しますが、27年度以降については、設定した目標に対する成果をみて、交付金を交付する仕組みにしていくと言われてしています。財源があるのは確かですが、詳細は明確にはなっていません。大阪府からの情報だと、来月以降、政府の骨太の方針等が示される中で、何らかの情報が示されるのではないかとということです。
- ・委員：最初は交付金があると思いますが、5年間はどうなるのでしょうか。
- ・事務局：年度ごとの交付になります。事業の進捗状況をみて、毎年申請していきます。
- ・委員：今までやっていたことを今回の計画で一本化して進めていくのでしょうか。
- ・事務局：事業ごとの補助金で今後も残るものはあると思いますが、地方創生という枠組みで補助金をパッケージ化して交付するように変えていくと国から聞いています。今後、国から提示があると思います。

- ・委員：忠岡町は住みよいので、移ってくる人が多いように思いますが、なぜ人口が増えないのでしょうか。
- ・事務局：忠岡町の人口は現状では横ばいないしは微増で維持されています。国の推計による将来人口についても、忠岡町は、2040年に1万6千人程度であり、他都市と比べ、比較的緩やかな減少となっています。今後、策定する人口ビジョンでは現状維持か若干の微減を目指すことになるのではないかと考えています。
- ・委員：今年中に4回の会議が予定されていますが、今後の会議はどのような議題になるのでしょうか。また予算組みとの関係はどうなるのでしょうか。
- ・事務局：年度内の策定が目標ではありますが、年内に骨子を組まないと、予算措置ができないので、タイトなスケジュールになっています。
- ・委員：総合戦略は、今後、5年間の計画ですか。
- ・事務局：そうです。

9. 総合戦略策定方針及び今後のスケジュールについて

- ・事務局：資料6～7の説明。
次回は8月20日（木）もしくは8月21日（金）午後予定。

10. 閉会